

## 椋本南方遺跡第3次・松山遺跡第2次

所在地：津市芸濃町椋本ほか（つし げいのうちょう むくもと）

遺跡への経路：安濃川流域北岸に遺跡はあります。津市市役所方面から、県道42号線を北上し、椋本に至ります。関方面からは、県道10号線を南下し椋本で県道28号線に入ります。安西橋の北側が椋本南方遺跡・松山遺跡になります。

位置情報URL：

<http://www.gis.pref.mie.lg.jp/mmm/index.html?z=128&ll=34.8002824074074,136.42713559322033>

調査期間：平成23年9月14日（水）～12月16日（金）＜予定＞

調査面積：867㎡＜予定＞

主な遺構：これからです。

主な遺物：これからです。

コメント：椋本南方遺跡と松山遺跡は縄文時代から室町時代に至る遺跡です。昭和62年と平成4年に行われた調査では、奈良～平安時代の竪穴住居や堀立柱建物が見つかり、鎌倉時代の墨書土器が出土しています。今回の調査でさらなる遺構・遺物が見つかるかもしれません。

なお、今回は高度水利機能確保基盤整備事業に伴う調査でパイプラインの工事と並行し行うため、調査区においても調査終了とともに工事が行われる予定です。

見頃：12月中旬



問い合わせ先

〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川 503 番地

調査研究 I 課／担当者：谷口

電話番号：0596-52-1732／FAX：0596-52-7035

E-mail：maibun@pref.mie.jp